

新・三世代ファミリーのパワーバランスを保つ ママ・パパの言い訳 VS 祖父母の言い訳

株式会社シンクキューブ
代表取締役 渡部 亜希子さん



わたなべ・あきこ
NEC入社後、社内ベンチャーにてキャリアデザインサポートサービス・女性向けコミュニティサイトの企画、運営を行うリッチピクチャーズ(株)を設立。2002年よりNTS教育研究所(日能研子会社)副所長などを歴任し、2005年(株)シンクキューブ設立。孫(子)育てと三世代交流に対する深い知見をもとに、商品・サービスのコンセプトワーク、開発サポートなど幅広くマーケティングビジネスを展開中。

子育て家庭の必須パワーは「祖父母力」

家族を作ることすら難しい現在の労働環境や経済状況の中で、「子供を産み、育てる」という選択をした女性たちに、今や欠かせないパワーといえば、「祖父母力」です。

女性がフルタイムで働いている場合は、自分あるいは夫の母が近くに住んでいて、育児のサポートをしてくれる前提があるかないかの差は非常に大きなものです。また専業主婦であっても、子供にまつわる行事は多く、女性が「自分らしさ」も大事にしたいと考えれば、やっぱり、時間貧乏に陥っています。

そんな彼女たちが、祖父母との隣居・近居によって子育てを乗り切る」という選択をする率は、年々高まるばかり。祖父母から娘世帯が受けるサポート内容はさまざまです

が、経済的サポートはまず「当たり前」。ついでママの代理育児、物資の援助などが続きます。まさに、新・三世代ファミリーとは「子育て共同コミュニティ」なのです。

新・三世代ファミリーにとつての話題の中心は、もちろん子供(孫)。その子供(孫)をめぐる、祖父母や親は、お互いにどんな「言い訳」をし合っているのか、ご紹介しましょう!

「子供がいるから」は、ママの最強の言い訳

まずは親。子供のママとパパたちですが、主人公はやはりママ(娘・嫁)ですね。祖父母に対しては、「子供がいるから○○だ」という言い訳が定番で、何かと頼りにしていきます。

○○するにはお金が足りない、時間が足りない、家を片付けられない、外食ができない、

旅行にいけない…などなど、数多くの「子供がいるからできないリスト」が存在します。

そこで、「外食したい」「旅行に行きたい」と思ったときにどうするか? 自分で言うのではありません。まずは孫から「ばあば、一緒に旅行に行こうよ」と伝えます。そう、まるで呪文のように(笑)。

この「一緒に」がポイントです。これで、成功率がぐっと高まります。ママにいたっては、子供がいるから部屋の片付けができないと、いつも来客時にモノを詰め込む「開かずの間」でさえも、うまくばあばを巻き込んで、掃除を手伝ってもらったりしています。

「育児のメインはパパとママ」で娘の甘えをブロック

このままでは祖父母ばかりが大変!?!と思いきや、彼らには子育てに深入りしすぎないで

すむための、定番の「言い訳」があるのです。

それは、「育児のメインはパパママだから」と「じいじ・ばあばはもう年だから」の2つのセリフ。孫はかわいい。でもずっと一緒に疲れる。この2つの気持ちの微妙なバランスを保ち、娘息子たちの果てしない甘えを適度に交わすための必殺ワードが、この2つなのです。

「ばあばー、運動会に来てよお」「じいじー、一緒にディズニールランドにいこうよ」と、ややハードルの高いお願いが出てきたら、どんなにウオーキングで鍛えて元気でピンピンしていても「じいじ、年だから、ごめんねえ」と断ります。ママパパからもっと高い要求が出されると、「あ、ごめん。その日は旅行だわあ。」と突然旅行が入ることもあるとか、ないとか。

そう、新・三世代ファミリーの祖父母たちは、「自分らしさ」を死守する世代なのです。